

到来工事向け 主桁スタッド配置図 受託処理サービスのご案内

オフィスケイワンでは自社開発プログラムを利用したスタッド配置図の受託処理サービスを実施しています。設計図面に加えて製作情報に連動可能な CAD データのご提供も可能です。信頼性の高い処理プロセスによって、施工時のトラブルを防ぐ高品質なサービスの提供を目指します。

キーワード：スタッド配置図、原寸、補正合成、不具合削減、効率化

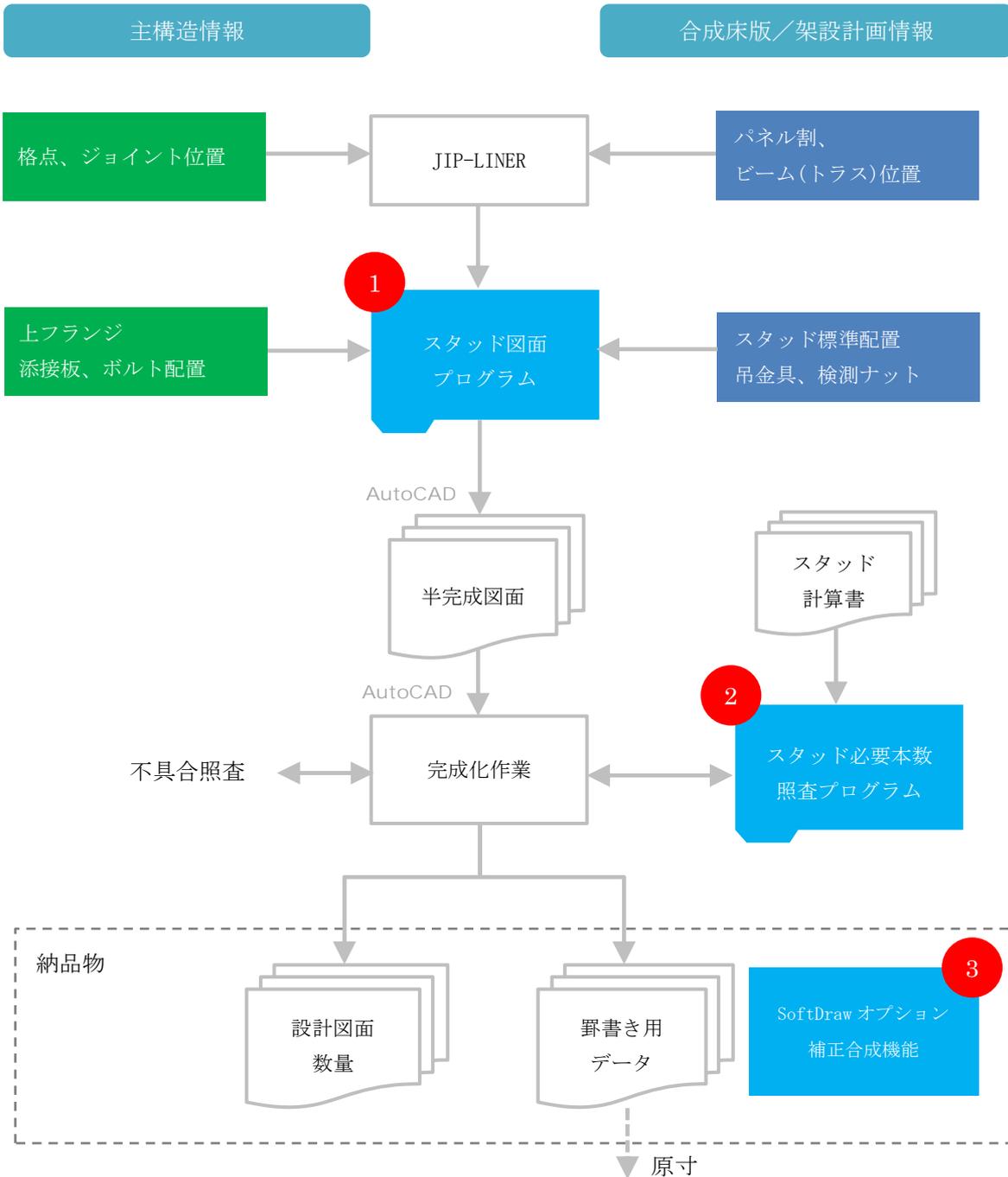
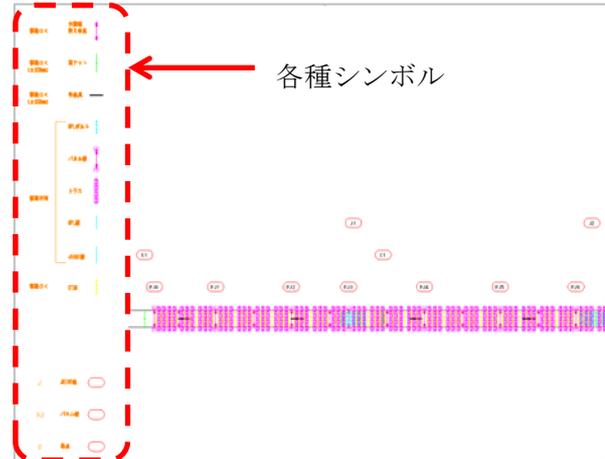
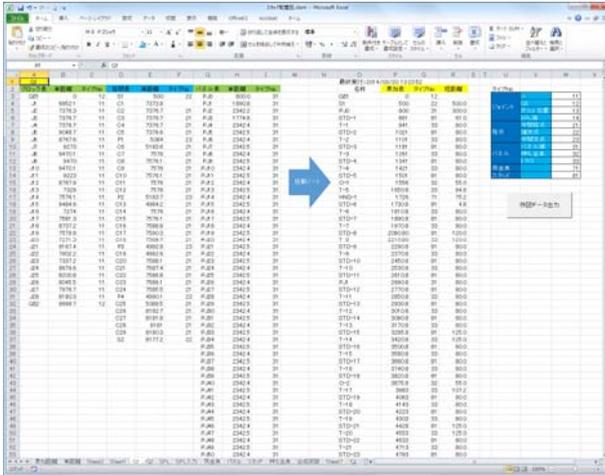


図. サービスフロー

1

スタッド図面プログラム

線形データの連動および主構造情報を Excel シートに入力し、効率よく正確なスタッド配置図を作成します。



2

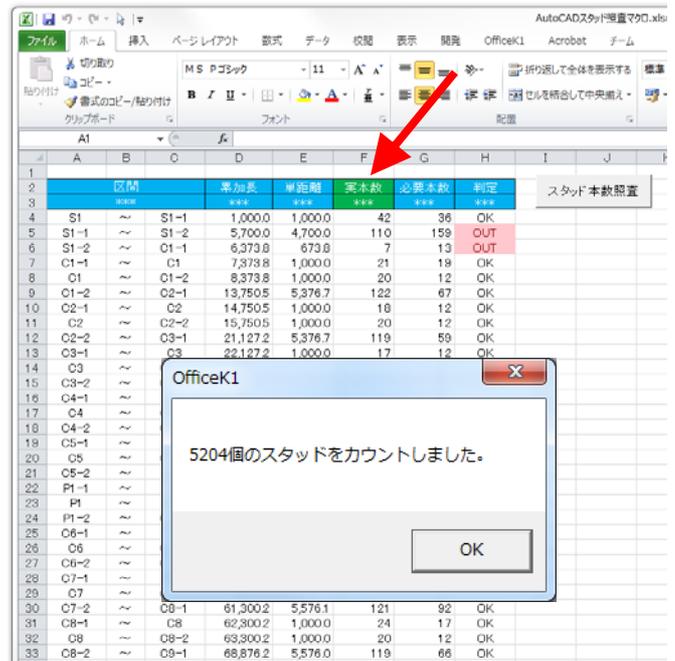
スタッド必要本数照査プログラム

スタッド配置図の CAD データをもとに、スタッド本数照査を行うプログラムです。

(1) プログラム (Excel ファイル) を起動し、設計条件 (区間距離とスタッド必要本数) を入力します。

(2) 入力が完了したら実行ボタンをクリックし AutoCAD 画面でスタッド範囲を選択すると、実本数を Excel シートに読み込みます。

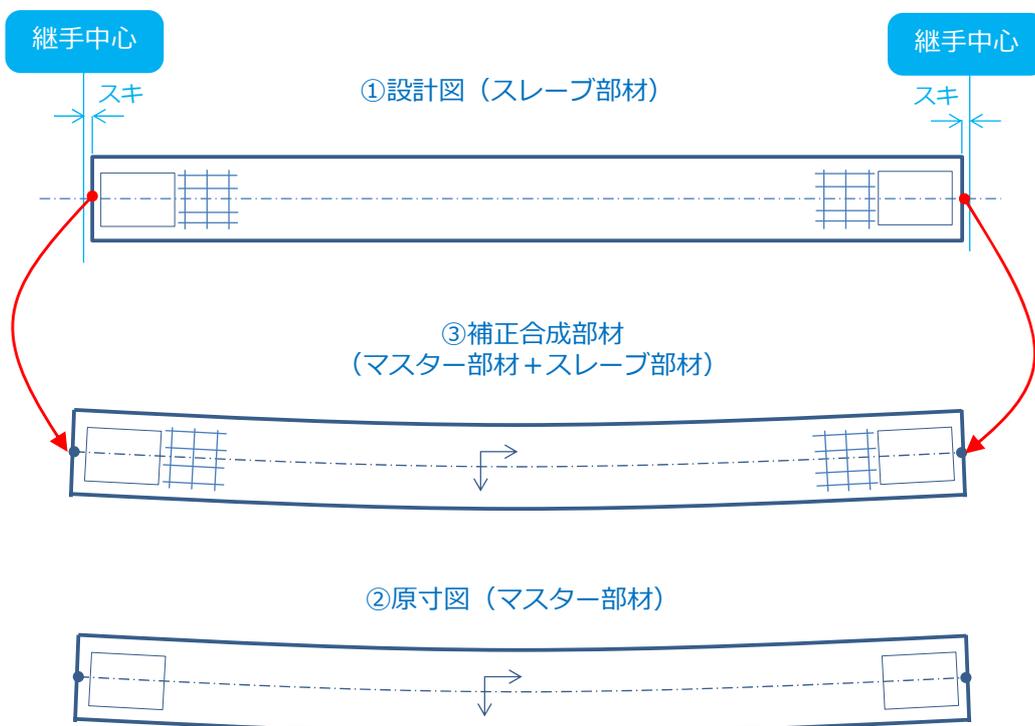
(3) 必要本数を満たしていない区間の CAD 図面を修正して、全区間 OK となるまで繰り返します。



間隔照査 (スタッド同士、SPL、吊金具) も自動で行います。

一般的に合成床版は工事落札後に設計図面を作成するため、主構造の原寸開始時にスタッド配置図がない場合が多いです。SoftDraw の補正合成機能を利用すると、先行して進めた原寸データ（上フランジ）に対して、遅れて出図されたスタッド配置図の CAD データを自動合成することができます。

- ① 設計図（スレーブ部材） → すべて投影寸法
- ② 原寸図（マスター部材） → 設計寸法に対して縦断勾配、溶接收縮量などを考慮
- ③ 補正合成部材 → 原寸図にスタッド配置図の罫書き情報を自動合成したデータ



スタッド
配置 CAD



原寸
情報

SoftDraw は SoftBridge 株式会社が開発・販売する製作情報 CAD 編集システムです。

詳細はこちらから <http://www.softbridge.co.jp/softdraw.html>

以上